

セキュアウェブ

Contents

Secure Web の新機能	16
現在のバージョンの新機能	16
iOS 用 セキュアウェブ 26.8.0	16
iOS/iPadOS 27 のサポート	16
Secure Web をデフォルトブラウザとして設定するサポート	16
以前のバージョンの新機能	17
Android 用 セキュアウェブ 26.5.0	17
Android 17 のサポート	17
iOS向け セキュアウェブ 26.5.0	17
Android向け セキュアウェブ 26.2.0	17
16KBメモリページサイズのサポート	17
iOS向け セキュアウェブ 25.9.0	17
iOS 15の非推奨化	17
Android向け セキュアウェブ 25.8.0	17
Android APIレベル35のサポート	17
アンドロイド版 Secure Web 25.6.0	18
レガシーMDXの廃止	18
アイオーエス版 Secure Web 25.5.0	18
iOS 26のサポート	18
レガシーMDXの廃止	18
Android用Secure Web バージョン 25.3.0	18
Android 16のサポート	18
Android用Secure Web バージョン 25.1.0	18
Webviewからのファイルダウンロードのサポート	18
iOS版 セキュアウェブ 25.1.0	19
Android版 セキュアウェブ 24.9.0	19

Android 15のサポート	19
APIレベル34のサポート	19
iOS向けSecure Web バージョン 24.11.0	19
TLS 1.3プロトコルのサポート	19
iOS版セキュアウェブ 24.9.0	20
iOS 18のサポート	20
Android版セキュアウェブ 24.8.0	20
TLS 1.3プロトコルのサポート	20
iOS版セキュアウェブ 24.3.0	20
Android向けSecure Web バージョン 24.3.0	20
iOS版セキュアウェブ 24.2.0	20
Android版セキュアウェブ 24.1.0	20
Android版 セキュアウェブ 23.10.0	21
ダークモードのサポート	21
セキュアウェブ 23.9.0	21
iOS向けセキュアウェブ	21
Secure Web バージョン 23.8.0	21
アンドロイド向けSecure Web	21
Secure Web バージョン 23.7.0	21
Android 用 セキュアウェブ	21
セキュアウェブ 23.5.0	21
Android版セキュアウェブ	21
セキュアウェブ 23.3.5	21
アンドロイド版セキュアウェブ	21
セキュアウェブ 23.2.0	22
AndroidおよびiOS版Secure Web	22
セキュアウェブ 22.9.0	22
Android 版セキュアウェブ	22

セキュアウェブ 22.9.1	22
iOS 用セキュアウェブ	22
セキュアウェブ 22.9.0	22
iOS 用セキュアウェブ	22
セキュアウェブ 22.6.0	22
Android 用セキュアウェブ	22
セキュアウェブ 22.3.0	22
iOS 用セキュアウェブ	22
Android 用セキュアウェブ	22
Secure Web バージョン 22.2.0	23
iOSデバイス向けのSecure Web	23
Android向けセキュアウェブ	23
セキュアウェブ 21.12.0	23
iOS用 セキュアウェブ	23
Android用 セキュアウェブ	23
セキュアウェブ 21.11.0	23
Android向けセキュアウェブ	23
セキュアウェブ 21.10.5	23
iOS向けセキュアウェブ	23
Android版セキュアウェブ	23
セキュアウェブ 21.10.0	24
Android版セキュアウェブ	24
セキュアウェブ 21.9.1	24
Android版セキュアウェブ	24
セキュアウェブ 21.9.0	24
iOS版セキュアウェブ	24
Android版セキュアウェブ	24
セキュアウェブ 21.8.5	24

Android向けセキュアウェブ	24
セキュアウェブ 21.8.0	25
iOS向けセキュアウェブ	25
前提条件	26
制限事項	27
Android版セキュアウェブ	28
セキュアウェブ 21.7.0	28
iOS用セキュアウェブ	28
Android用セキュアウェブ	28
セキュアウェブ 21.6.0	28
iOS用セキュアウェブ	28
Android用セキュアウェブ	29
iOS版 セキュアウェブ 21.5.0	29
Android版 セキュアウェブ 21.4.5	29
セキュアウェブ 21.3.5	29
Android版 セキュアウェブ	29
セキュアウェブ 21.3.0	29
Android版 セキュアウェブ	29
セキュアウェブ 21.2.0	29
iOS版 セキュアウェブ	29
Android版 セキュアウェブ	30
セキュアウェブ 21.1.5	30
iOS版 セキュアウェブ	30
セキュアウェブ 21.1.0	30
セキュアウェブ 20.12.0	30
iOS版 セキュアウェブ	30
セキュアウェブ 20.11.0	30
セキュアウェブ 20.10.5	30

Android版 セキュアウェブ	30
セキュアウェブ 20.10.0	30
Android版セキュアウェブ	30
セキュアウェブ 20.9.5	31
iOS版セキュアウェブ	31
セキュアウェブ 20.9.0	31
Android版セキュアウェブ	31
セキュアウェブ 20.8.5	31
Android版セキュアウェブ	31
セキュアウェブ 20.8.0	31
Android版セキュアウェブ	31
前提条件	32
制限事項	32
セキュアウェブ 20.7.5	33
セキュアウェブ 20.7.0	33
セキュアウェブ 20.6.0	34
セキュアウェブ 20.5.0	34
セキュアウェブ 20.4.5	34
Secure Web 19.10.5から20.4.0	34
セキュアウェブ 19.10.0	34
暗号化の種類	34
非準拠デバイスの動作	35
セキュアウェブ 19.9.5	36
セキュアウェブ 19.9.0	36
iOS用 セキュアウェブ	36
Android用 セキュアウェブ	36
Android用 セキュアウェブ 19.8.5	36
セキュアウェブ 19.8.0	36

セキュアウェブ 19.7.5	36
iOS向け セキュアウェブ	36
Android版 セキュアウェブ	36
Secure Web 19.3.0から19.6.5	36
セキュアウェブ 19.2.0	36
Secure Webバージョン18.11.5から19.1.5	37
セキュアウェブ 18.11.0	37
Secure Web 18.9.0から18.10.5	37
セキュアウェブ 10.8.65	37
セキュアウェブ 10.8.60	40
セキュアウェブ 10.8.35	40
セキュアウェブ 10.8.15	40
セキュアウェブ 10.8.10	40
セキュアウェブ 10.8.5	40
既知の問題と修正された問題	41
iOS用セキュアウェブ 26.8.0	41
修正された問題	41
既知の問題	41
Android用セキュアウェブ 26.5.0	41
修正された問題	41
既知の問題	41
iOS用セキュアウェブ 26.5.0	41
修正された問題	41
既知の問題	42
アンドロイド用 セキュアウェブ 26.2.0	42
修正された問題	42
既知の問題	42
アイオーエス用 セキュアウェブ 25.9.0	42

修正された問題	42
既知の問題	42
Android版 セキュアウェブ 25.8.0	43
修正された問題	43
既知の問題	43
Android版 セキュアウェブ 25.6.0	43
修正された問題	43
既知の問題	43
iOS版 セキュアウェブ 25.5.0	43
修正された問題	43
既知の問題	43
Android版 セキュアウェブ 25.3.0	44
修正された問題	44
既知の問題	46
iOS版 セキュアウェブ 25.1.0	46
修正された問題	46
既知の問題	46
Android版 セキュアウェブ 25.1.0	46
修正された問題	46
既知の問題	46
iOS版 セキュアウェブ 24.11.0	46
修正された問題	46
既知の問題	46
Android版 セキュアウェブ 24.9.0	47
修正された問題	47
既知の問題	47
iOS 用 セキュアウェブ 24.9.0	47
修正された問題	47

既知の問題	47
Android 用 セキュアウェブ 24.8.0	47
修正された問題	47
既知の問題	47
iOS 用 セキュアウェブ 24.3.0	47
修正された問題	47
既知の問題	47
アンドロイド用 セキュアウェブ 24.3.0	48
修正された問題	48
既知の問題	48
アイオーエス用 セキュアウェブ 24.2.0	48
アンドロイド用 セキュアウェブ 24.1.0	48
アイオーエス用 セキュアウェブ 23.9.0	48
Android版 セキュアウェブ 23.8.0	48
Android版 セキュアウェブ 23.7.0	48
Android版 セキュアウェブ 23.5.0	48
以前のバージョンにおける既知の問題と修正済みの問題	48
Secure Web の既知の問題と修正された問題の履歴	49
セキュアウェブ 23.3.5	49
Android 用 Secure Web の既知の問題	49
Android 用 Secure Web の修正された問題	49
セキュアウェブ 23.2.0	49
iOS および Android 用 Secure Web の既知の問題	49
iOS および Android 用 Secure Web の修正された問題	49
セキュアウェブ 22.9.1	49
iOS 用 Secure Web の既知の問題	49
iOS版Secure Webの修正済み問題	50
セキュアウェブ 22.9.0	50

iOSおよびAndroid版Secure Webの既知の問題	50
iOSおよびAndroid版Secure Webの修正済み問題	50
セキュアウェブ 22.6.0	50
Android版Secure Webの既知の問題	50
Android版Secure Webの修正済み問題	50
セキュアウェブ 22.3.0	50
iOS版Secure Webの既知の問題	50
セキュアウェブ 22.2.0	51
Android版Secure Web 22.2.0の既知の問題	51
セキュアウェブ 21.12.0	51
Android版Secure Web 21.12.0の既知の問題	51
セキュアウェブ 21.11.0	51
Android版Secure Web 21.11.0の既知の問題	51
Secure Web 21.11.0 で修正された問題	51
セキュアウェブ 21.10.5	51
Secure Web 21.10.5 の既知の問題	51
Secure Web 21.10.5 で修正された問題	51
セキュアウェブ 21.10.0	51
セキュアウェブ 21.9.1	52
セキュアウェブ 21.9.0	52
セキュアWeb 21.8.5	52
セキュアWeb 21.8.0	52
Secure Web 21.8.0 の既知の問題	52
セキュアWeb 21.7.0	52
Secure Web 21.7.0 の既知の問題	52
Secure Web 21.7.0 の修正済みの問題	52
セキュアWeb 21.6.0	52
セキュアWeb 21.5.0	52

iOS向けセキュアWeb	52
セキュアウェブ 21.4.5	53
Android 用セキュアウェブ	53
セキュアウェブ 21.3.5	53
Android 用セキュアウェブ	53
セキュアウェブ 21.3.0	53
Android 用セキュアウェブ	53
セキュアウェブ 21.2.0	53
セキュアウェブ 21.1.5	53
セキュアウェブ 21.1.0	53
セキュアウェブ 20.12.0	53
iOS 用 セキュアウェブ	53
セキュアウェブ 20.11.0	53
セキュアウェブ 20.10.5	54
Android 用 セキュアウェブ	54
セキュアウェブ 20.10.0	54
Android 用 セキュアウェブ	54
セキュアウェブ 20.9.5	54
iOS 用 セキュアウェブ	54
セキュアウェブ 20.9.0	54
セキュアウェブ 20.8.5	54
セキュアウェブ 20.8.0	54
Secure Web 20.8.0 の既知の問題	54
Secure Web 20.8.0 で修正された問題	54
セキュアウェブ 20.7.5	54
セキュアウェブ 20.7.0	55
セキュアウェブ 20.6.0	55
セキュアウェブ 20.5.0	55

iOS用セキュアウェブ	55
Secure Web 20.5.0の既知の問題	55
Secure Web 20.5.0の修正済みの問題	55
セキュアウェブ 20.4.5	55
セキュアウェブ 20.4.0	55
Secure Web 20.4.0の既知の問題	55
Secure Web 20.4.0の修正済みの問題	55
セキュアウェブ 20.3.0	55
セキュアウェブ 20.2.0	56
セキュアウェブ 19.12.5	56
Secure Web 19.12.5 の既知の問題	56
Secure Web 19.12.5 で修正された問題	56
Secure Web 19.10.0 から 19.11.5	56
セキュアウェブ 19.9.5	56
Secure Web 19.9.5 の既知の問題	56
Secure Web 19.9.5 で修正された問題	56
セキュアウェブ 19.9.0	56
Secure Web 19.9.0における既知の問題	56
Secure Web 19.9.0における修正された問題	57
セキュアウェブ 19.8.5	57
Android版Secure Web 19.8.5における既知の問題と修正された問題	57
セキュアウェブ 19.8.0	57
Secure Web 19.8.0における既知の問題	57
Secure Web 19.8.0の修正された問題	57
セキュアウェブ 19.7.5	57
Secure Web 19.7.5 の既知の問題	57
Secure Web 19.7.5 の修正された問題	57
セキュアウェブ 19.6.5	57

Secure Web 19.6.5 の既知の問題	57
Secure Web 19.6.5 の修正された問題	57
セキユアウェブ 19.5.5	58
Secure Web 19.5.5 の既知の問題	58
Secure Web 19.5.5 の修正された問題	58
セキユアウェブ 19.5.0	58
Secure Web 19.5.0 の既知の問題と修正された問題	58
セキユアウェブ 19.4.5	58
Secure Web 19.4.5 の既知の問題	58
Secure Web 19.4.5 で修正された問題	58
セキユアウェブ 19.3.5	58
Secure Web 19.3.5 の既知の問題	58
Secure Web 19.3.5 で修正された問題	58
セキユアウェブ 19.3.0	59
セキユアウェブ 19.2.0	59
Secure Web 19.1.5 で修正された問題	59
セキユアウェブ 19.1.0	59
Secure Web 19.1.0 の既知の問題と修正された問題	59
セキユアウェブ 18.12.0	59
Secure Web 18.12.0 の既知の問題	59
セキユアウェブ 18.11.5	59
Secure Web 18.11.5 の既知の問題	59
Secure Web 18.11.0 の修正された問題	59
セキユアウェブ 10.8.65	60
Secure Web 10.8.65 の既知の問題	60
Secure Web 10.8.65 の修正された問題	60
セキユアウェブ 10.8.60	60
Secure Web 10.8.60 の既知の問題	60

Secure Web 10.8.60 の修正された問題	60
セキュアウェブ 10.8.55	60
Secure Web 10.8.55 の既知の問題	60
Secure Web 10.8.55 で修正された問題	60
セキュアウェブ 10.8.50	61
Secure Web 10.8.50 の既知の問題	61
Secure Web 10.8.50 で修正された問題	61
セキュアウェブ 10.8.45	61
Secure Web 10.8.45 の既知の問題	61
Secure Web 10.8.45 で修正された問題	61
セキュアウェブ 10.8.40	61
Secure Web 10.8.40における既知の問題	61
Secure Web 10.8.40で修正された問題	61
セキュアウェブ 10.8.26	62
Secure Web 10.8.26における既知の問題	62
Secure Web 10.8.26で修正された問題	62
セキュアウェブ 10.8.10	62
Secure Web 10.8.10における既知の問題	62
Secure Web 10.8.10で修正された問題	62
Secure Web for AndroidおよびiOS - プレビュー	63
機能フラグ管理	64
Secure Web の統合と展開	65
ユーザー接続の構成	65
スプリットトンネリング	66
リバーススプリットトンネリングの構成手順	66
リバーススプリットトンネルモード除外リストMDXポリシー	66
Secure Webポリシー	67
許可またはブロックされたWebサイト	67

ポップアップをブロックする	68
事前読み込みされたブックマーク	68
ホームページURL	68
ブラウザのユーザーインターフェイス	69
Webパスワードのキャッシュを有効にする	69
プロキシサーバー	69
DNSサフィックス	69
Secure Web用のイントラネットサイトの準備	70
イントラネットサイトのトラブルシューティング	71
SSL接続の検証	72
Webアーカイブファイルを作成するには	72
Secure Webの機能	73
iOSデータ保護	76
Secure WebのiOSおよびAndroid機能	77
iOS の機能	79
Secure Web を既定のブラウザとして設定するサポート	79

Secure Web の新機能

注:

- Secure Hub、Secure Mail、Secure Web、および Citrix Workspace アプリは、2020 年 6 月現在、Android 6.x および iOS 11.x をサポートしていません。
- iOS 用 Secure Web は、25.5.0 以降、UIWebView をサポートしていません。

現在のバージョンの新機能

iOS 用 セキュアウェブ 26.8.0

iOS/iPadOS 27 のサポート

iOS 用 Secure Web 26.8.0 のリリース以降、このアプリは iOS/iPadOS 27 と互換性があります。デバイスを iOS/iPadOS 27 にアップグレードして、Secure Web の最新バージョンを引き続き使用できます。

Secure Web をデフォルトブラウザとして設定するサポート

iOS 用 Secure Web 26.8.0 のリリース以降、Secure Web をデバイスのデフォルトブラウザとして設定できます。デフォルトとして設定すると、メール、メッセージ、またはその他のアプリでタップした HTTP または HTTPS リンクは、Safari ではなく Secure Web で開きます。これにより、ブラウジングトラフィックは管理対象コンテナ内に保持され、構成したポリシーの下で管理されます。

Secure Web をデフォルトブラウザとして設定するには、「[Secure Web をデフォルトブラウザとして設定するサポート](#)」を参照してください。

バグ修正の詳細については、「[既知の問題と修正された問題](#)」を参照してください。

以前のバージョンの新機能

Android 用 セキュアウェブ 26.5.0

Android 17 のサポート

Android版Secure Web 26.5.0のリリース以降、このアプリはAndroid 17と互換性があります。デバイスをAndroid 17にアップグレードして、Secure Webの最新バージョンを引き続き使用できます。

バグ修正の詳細については、[既知の問題と修正された問題](#)を参照してください。

iOS向け セキュアウェブ 26.5.0

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性の向上に役立ついくつかの問題に対処しています。

バグ修正の詳細については、[既知の問題と修正された問題](#)を参照してください。

Android向け セキュアウェブ 26.2.0

16KBメモリページサイズのサポート

Android版Secure Web 26.2.0のリリース以降、このアプリはパフォーマンスを最適化し、Google Playの要件に準拠するために16KBのメモリページサイズをサポートしています。

バグ修正の詳細については、[既知の問題と修正された問題](#)を参照してください。

iOS向け セキュアウェブ 25.9.0

iOS 15の非推奨化

iOS版Secure Web 25.9.0のリリース以降、iOS 15のサポートは非推奨となり、このアプリはiOS 15を実行しているデバイスをサポートしません。代替策として、利用可能な最新バージョンのiOSにアップグレードできます。

バグ修正の詳細については、[既知の問題と修正された問題](#)を参照してください。

Android向け セキュアウェブ 25.8.0

Android APIレベル35のサポート

Android版Secure Web 25.8.0のリリース以降、アプリはGoogle Playアプリの更新要件に準拠するため、Android APIレベル35をサポートします。

バグ修正の詳細については、[既知の問題と修正された問題](#)を参照してください。

Android版 Secure Web 25.6.0

レガシーMDXの廃止

Android版Secure Web 25.6.0のリリース以降、アプリは常にMAM SDKポリシーコンテナモードを使用します。

バグ修正の詳細については、[既知の問題と修正された問題](#)を参照してください。

アイオーエス版 Secure Web 25.5.0

iOS 26のサポート

iOS版Secure Web 25.5.0のリリース以降、アプリはiOS 26で動作するデバイスをサポートします。Secure Webバージョン25.5.0にアップグレードすることで、iOS 26に更新されたデバイスに対する継続的なサポートと互換性が保証されます。

レガシーMDXの廃止

iOS版Secure Web 25.5.0のリリース以降、アプリは常にMAM SDKポリシーコンテナモードを使用します。

バグ修正の詳細については、[既知の問題と修正された問題](#)を参照してください。

Android用Secure Web バージョン 25.3.0

Android 16のサポート

Android版Secure Web 25.3.0のリリース以降、アプリはAndroid 16と互換性があります。デバイスをAndroid 16にアップグレードして、Secure Webの最新バージョンを継続して使用できます。

バグ修正の詳細については、[既知の問題と修正済みの問題](#)を参照してください。

Android用Secure Web バージョン 25.1.0

Webviewからのファイルダウンロードのサポート

Android版Secure Web 25.1.0のリリース以降、Secure Webはwebviewメモリに含まれるファイルのダウンロードをサポートします。この機能強化により、ファイルがURLに添付されたBLOBコンテンツとして表現されている場合でも、ユーザーはwebviewから直接ファイルをダウンロードできるようになります。

バグ修正の詳細については、[既知の問題と修正済みの問題](#)を参照してください。

iOS版 セキュアウェブ 25.1.0

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性の向上に役立ついくつかの問題に対処しています。

バグ修正の詳細については、[既知の問題と修正済みの問題](#)を参照してください。

Android版 セキュアウェブ 24.9.0

Android 15のサポート

Secure Webのバージョンを24.9.0にアップグレードすることで、Android 15に更新されたデバイスに対する継続的なサポートが保証されます。

APIレベル34のサポート

Secure Webは、Google Playの現在のターゲットAPI要件であるAPIレベル34をサポートしています。

バグ修正の詳細については、[既知の問題と修正済みの問題](#)を参照してください。

iOS向けSecure Web バージョン 24.11.0

TLS 1.3プロトコルのサポート

iOS版Secure Web 24.11.0のリリース以降、このアプリはiOSデバイスでTLS 1.3プロトコルをサポートします。TLS 1.3はTLSプロトコルの最新バージョンであり、TLS 1.2と比較して、より高速なパフォーマンス、強化されたセキュリティ、およびサイバー攻撃に対する優れた回復力を提供します。TLS 1.3はネットワーク遅延も低減し、より高速なHTTPS接続と優れたユーザーエクスペリエンスをもたらします。

TLS 1.3の詳細については、「[The Transport Layer Security \(TLS\) Protocol Version 1.3](#)」を参照してください。

注:

この機能はデフォルトで無効になっており、管理者はこの機能を有効にするためにCitrixカスタマーサポートに連絡する必要があります。

バグ修正の詳細については、「[既知の問題と修正された問題](#)」を参照してください。

iOS版セキュアウェブ 24.9.0

iOS 18のサポート

iOS版Secure Webバージョン24.9.0のリリース以降、Secure WebはiOS 18以降で動作するデバイスをサポートします。Secure Webバージョン24.9.0にアップグレードすることで、iOS 18にアップデートされたデバイスに対する継続的なサポートと互換性が保証されます。

バグ修正の詳細については、「[既知の問題と修正された問題](#)」を参照してください。

Android版セキュアウェブ 24.8.0

TLS 1.3プロトコルのサポート

Android版Secure Web 24.8.0のリリース以降、このアプリはAndroidデバイスでTLS 1.3プロトコルをサポートします。TLS 1.3はTLSプロトコルの最新バージョンであり、TLS 1.2と比較して、より高速なパフォーマンス、強化されたセキュリティ、およびサイバー攻撃に対する優れた回復力を提供します。TLS 1.3はネットワーク遅延も低減し、より高速なHTTPS接続と優れたユーザーエクスペリエンスをもたらします。

TLS 1.3の詳細については、「[The Transport Layer Security \(TLS\) Protocol Version 1.3](#)」を参照してください。

iOS版セキュアウェブ 24.3.0

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対応しています。

Android向けSecure Web バージョン 24.3.0

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対応しています。

iOS版セキュアウェブ 24.2.0

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対応しています。

Android版セキュアウェブ 24.1.0

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対応しています。

Android版 セキュアウェブ 23.10.0

ダークモードのサポート

23.10.0リリース以降、Secure WebはAndroidデバイスでダークモードをサポートします。ダークモードを設定するには、アプリの **設定 > アプリのテーマ** に移動し、**ダークモード** を選択します。

セキュアウェブ 23.9.0

iOS向けセキュアウェブ

iOS版Secure Web 23.9.0はiOS 17をサポートしています。Secure Webをバージョン23.9.0にアップグレードすると、iOS 17にアップデートされたデバイスの継続的なサポートが保証されます。

Secure Web バージョン 23.8.0

アンドロイド向けSecure Web

Android版Secure Web 23.8.0はAndroid 14をサポートしています。Secure Webバージョンを23.8.0にアップグレードすると、Android 14に更新されたデバイスの継続的なサポートが保証されます。

Secure Web バージョン 23.7.0

Android 用 セキュアウェブ

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性の向上に役立ついくつかの問題に対処しています。

セキュアウェブ 23.5.0

Android版セキュアウェブ

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性の向上に役立ついくつかの問題に対処しています。

セキュアウェブ 23.3.5

アンドロイド版セキュアウェブ

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性の向上に役立ついくつかの問題に対処しています。

セキュアウェブ 23.2.0

AndroidおよびiOS版Secure Web

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性の向上に役立ついくつかの問題に対処しています。

セキュアウェブ 22.9.0

Android 版セキュアウェブ

Secure Web は現在 Android 13 をサポートしています。

セキュアウェブ 22.9.1

iOS 用セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 22.9.0

iOS 用セキュアウェブ

Secure Web は現在 iOS 16 をサポートしています。

セキュアウェブ 22.6.0

Android 用セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 22.3.0

iOS 用セキュアウェブ

Google Analytics。 Citrix Secure Mail は、製品品質を向上させるために、アプリの統計情報と使用状況分析データを収集するために Google Analytics を使用します。Citrix は、その他の個人ユーザー情報を収集または保存しません。Secure Mail の Google Analytics を無効にする方法の詳細については、「[Google Analytics を無効にする](#)」を参照してください。

Android 用セキュアウェブ

Google Analytics。 Citrix Secure Mail は、製品品質を向上させるために、アプリの統計情報と使用状況分析データを収集するために Google Analytics を使用します。Citrix は、その他の個人ユー

ザー情報を収集または保存しません。Secure Mail の Google Analytics を無効にする方法の詳細については、「[Google Analytics を無効にする](#)」を参照してください。

Secure Web バージョン 22.2.0

iOSデバイス向けのSecure Web

このリリースにはバグ修正が含まれています。

Android向けセキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 21.12.0

iOS用 セキュアウェブ

FIDO2ベース認証のサポート。 このリリースでは、Citrix Secure Web™ はFIDO2を使用したWebサイトでの認証をサポートします。生体認証、タッチ、またはパスコードを使用して、FIDO2をサポートするWebサイトに認証できます。WKWebViewエンジンは、Secure WebでFIDO2ベースの認証をサポートします。

Android用 セキュアウェブ

FIDO2ベース認証のサポート。 このリリースでは、Citrix Secure WebはFIDO2を使用したWebサイトでの認証をサポートします。生体認証、タッチ、またはパスコードを使用して、FIDO2をサポートするWebサイトに認証できます。

セキュアウェブ 21.11.0

Android向けセキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 21.10.5

iOS向けセキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

Android版セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

注:

Secure WebのAndroid 7のサポートは、2021年10月をもって終了します。

セキュアウェブ 21.10.0

Android版セキュアウェブ

- **Android 12のサポート。**このリリース以降、Secure WebはAndroid 12を実行しているデバイスでサポートされます。
- Secure Webは、Google Playの現在のターゲットAPI要件であるAPIレベル30 (Android 11) を満たしています。

セキュアウェブ 21.9.1

Android版セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 21.9.0

iOS版セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

Android版セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 21.8.5

Android向けセキュアウェブ

登録済みデバイスでのAndroid 12 Beta 4のサポート。 Secure WebはAndroid 12 Beta 4をサポートするようになりました。Android 12 Beta 4へのアップグレードを検討している場合は、まず Secure Hubをバージョン21.7.1にアップデートしてください。Secure Hub 21.7.1は、Android 12 Beta 4にアップグレードするために必要な最小バージョンです。このリリースにより、登録済みのユーザーはAndroid 11からAndroid 12 Beta 4へシームレスにアップグレードできます。

注：

Citrixは、Android 12のDay 1サポートを提供することに尽力しています。Secure Mailの以降のバージョンでは、Android 12を完全にサポートするためのさらなるアップデートが提供されます。

セキュアウェブ 21.8.0

注：

Secure Web 21.8.0は、iOS 12.1以降でのみサポートされます。iOSバージョン12以前のデバイスで実行されているSecure Webのアップデートは利用できません。

iOS向けセキュアウェブ

Secure Webのデュアルモード

モバイルアプリケーション管理（MAM）SDKは、iOSプラットフォームでカバーされていないMDX機能の領域を置き換えるために利用できます。MDXラッピングテクノロジーは、2022年3月にサポート終了（EOL）を迎える予定です。

Citrix Secure Webは、2022年3月に予定されているMDXのEOLに備えて、MDXとMAM SDKの両方のフレームワークでリリースされています。エンタープライズアプリケーションの管理を継続するには、MAM SDKを組み込む必要があります。Citrixは、**MAM SDK**への切り替えを推奨しています。デュアルモード機能は、Secure Webアプリを新しいMAM SDKモデルに移行する方法を提供することを目的としています。

デュアルモード機能を使用すると、MDX（現在は**レガシーMDX**）を使用してアプリの管理を継続するか、新しい**MAM SDK**に切り替えることができます。**MDX**または**MAM SDK**ポリシーコンテナのポリシー設定には、次のオプションがあります。

- **MAM SDK**
- **レガシーMDX**

The screenshot shows the Citrix Cloud Endpoint Management console. The top navigation bar includes 'Citrix Cloud' and 'Endpoint Management'. Below it, there are tabs for 'Analyze', 'Manage', 'Configure', and 'Monitor'. The 'Configure' tab is active, and the 'Apps' sub-tab is selected. The left sidebar shows a list of platforms: 'MDX', '1 App Information', '2 Platform' (with 'Select All' and 'iOS' checked), '3 Approvals (optional)', and '4 Delivery Group Assignments (optional)'. The main content area shows the configuration for the 'Secure Mail' app. The 'MDX or MAM SDK policy container' section is highlighted with a red box, showing 'Legacy MDX' selected over 'MAM SDK'. Other configuration options include 'File name', 'App Description', 'App version', 'Minimum OS version', 'Maximum OS version', 'Excluded devices', 'Remove app if MDM profile is removed', 'Prevent app data backup', 'Force app to be managed', and 'App deployed via Volume purchase'.

「MDXまたはMAM SDKポリシーコンテナ」ポリシーでは、オプションを「レガシーMDX」から「MAM SDK」に変更できます。「MAM SDK」から「レガシーMDX」への切り替えは、アプリの再インストールが必要になるため、推奨されません。デフォルト値は「レガシーMDX」です。デバイスで実行されているSecure MailとSecure Webの両方に同じポリシーモードを設定してください。同じデバイスで2つの異なるモードを実行することはできません。

「MAM SDK」モードを選択すると、アプリは自動的にMAM SDKフレームワークに切り替わり、管理者の追加操作なしでデバイスポリシーが更新されます。

注：

「レガシーMDX」から「MAM SDK」フレームワークに切り替える場合、「ネットワークアクセス」ポリシーを「トンネル化 - Web SSO」または「無制限」のいずれかに変更する必要があります。

前提条件

デュアルモード機能を正常に展開するには、次の要件が満たされていることを確認してください。

- Citrix Endpoint Managementをバージョン10.12 RP2以降、または10.11 RP5以降に更新します。
- モバイルアプリをバージョン21.8.0以降に更新します。

- 組織でサードパーティ製アプリを使用している場合は、MAM SDKフレームワークに切り替える前に、MAM SDKをサードパーティ製アプリに組み込むようにしてください。すべての管理対象アプリは、一度にMAM SDKに移行する必要があります。

制限事項

- MAM SDKはプラットフォームベースの暗号化のみをサポートしており、MDX暗号化はサポートしていません。
- Citrix Endpoint Managementをバージョン10.12 RP2以降、または10.11 RP5以降に更新しない場合、重複するポリシーエントリが表示されます。ポリシーファイルがバージョン21.8.0以降で実行されている場合、重複エントリが作成されます。
- アプリ管理のMAM SDKモードに切り替えると、一部の機能はサポートされないか、利用できません。また、Open-inやコピー/貼り付けなどのアクションでは、異なるモードのアプリ間の相互運用はサポートされていません。たとえば、**Legacy MDX**モードで管理されているアプリから**MAM SDK**モードで管理されているアプリにコンテンツをコピーしたり、その逆を行うことはできません。MAM SDKモードで利用できない機能については、以下の表を参照してください。

機能	レガシー MDX	MAM SDK
共有デバイス	はい	いいえ
イントラネット	はい	いいえ
SMIME共有証明書保管庫	はい	いいえ
派生資格情報	はい	いいえ
UIWebViewトンネリング	はい	いいえ
フルVPN	はい	いいえ

- 以下のポリシーは非推奨であり、MAM SDKモードでは利用できません。
 - 許可されたSecure Webドメイン
 - 許可されたWi-Fiネットワーク
 - 代替シトリックスゲートウェイ
 - 証明書ラベル
 - Citrixレポート

- 明示的なログオフ通知
- micro VPNセッションが必要
- micro VPN セッションの猶予期間 (分)
- レポートファイルの最大キャッシュ
- Wi-Fiを必須にする
- レポートはWi-Fi経由でのみ送信
- トークンのアップロード

注:

内部サーバーへの認証にクライアント証明書を使用している場合、そのクライアント証明書は Access Gatewayで使用されているものと同じである必要があります。

MAM SDKの詳細については、以下の記事を参照してください。

- [MAM SDKの概要](#)
- [MAM SDKの最新リリース](#)
- [モバイルアプリケーション統合に関するCitrix開発者向けドキュメント](#)
- [Citrixブログ投稿](#)

Android版セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 21.7.0

iOS用セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

Android用セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 21.6.0

iOS用セキュアウェブ

このリリース以降、以下のネットワークアクセスポリシーオプションはサポートされなくなりました。

- 以前の設定を使用
- トンネル化 - フルVPN
- トンネル化 - フルVPNおよびWeb SSO

トンネル化 - フルVPNまたはトンネル化 - フルVPNおよびWeb SSOポリシーを使用している場合は、トンネル化 - Web SSOポリシーに切り替える必要があります。

注：

Secure Ticket Authority (STA) を使用するには、ネットワークアクセスポリシーをトンネル化 - Web SSOに設定する必要があります。

Android用セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

iOS版 セキュアウェブ 21.5.0

このリリースにはバグ修正が含まれています。

Android版 セキュアウェブ 21.4.5

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 21.3.5

Android版 セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 21.3.0

Android版 セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 21.2.0

iOS版 セキュアウェブ

Secure Webのカラー刷新。 Secure WebはCitrixブランドのカラーアップデートに準拠していません。

Android版 セキュアウェブ

- **Secure Webのカラー刷新。** Secure WebはCitrixブランドのカラーアップデートに準拠しています。
- **折りたたみ式デバイスでの安定した動作。** Android版Secure Webには、折りたたみ式デバイスでの安定した動作に関する修正が含まれています。

セキュアウェブ 21.1.5

iOS版 セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 21.1.0

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 20.12.0

iOS版 セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 20.11.0

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 20.10.5

Android版 セキュアウェブ

AndroidXライブラリのサポート。 Googleの推奨に従い、Secure Webは**android.support**パッケージライブラリの代替である**AndroidX**ライブラリをサポートします。

セキュアウェブ 20.10.0

Android版セキュアウェブ

Secure Web は、Android 10 の Google Play の現在のターゲット API 要件をサポートしています。

セキュアウェブ 20.9.5

iOS版セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 20.9.0

Android版セキュアウェブ

注:

Android 6.x のサポートは、September 15, 2020 に終了しました。

セキュアウェブ 20.8.5

Android版セキュアウェブ

Android版Secure Web は Android 11 をサポートしています。

セキュアウェブ 20.8.0

Android版セキュアウェブ

Android版Secure Webのデュアルモード。 モバイルアプリケーション管理 (MAM) SDK は、iOS および Android プラットフォームでカバーされていない MDX 機能の領域を置き換えるために利用できます。MDX ラッピングテクノロジーは、2021年9月にサポート終了 (EOL) となる予定です。エンタープライズアプリケーションの管理を継続するには、MAM SDK を組み込む必要があります。

バージョン20.8.0以降、Androidアプリは、以前に述べたMDX EOL戦略に備えるため、MDXおよびMAM SDKとともにリリースされます。MDXデュアルモードは、レガシーMDX Toolkitから新しいMAM SDKへの移行方法を提供することを目的としています。デュアルモード機能を使用すると、MDX Toolkit（現在は**レガシーMDX**）を使用してアプリの管理を継続するか、新しいMAM SDKに切り替えてアプリを管理することができます。

アプリ管理のためにMAM SDKに切り替えると、Citrixはさらなる変更を実装し、管理者からのアクションは不要になります。

MAM SDKの詳細については、以下の記事を参照してください。

- [MAM SDKの概要](#)

- [MAM SDKの最新リリース](#)
- [デバイス管理に関するCitrix開発者セクション](#)
- [Citrixブログ投稿](#)

前提条件

デュアルモード機能を正常に展開するには、以下を確認してください。

- Citrix Endpoint Managementをバージョン10.12 RP2以降、または10.11 RP5以降に更新します。
- モバイルアプリをバージョン20.8.0以降に更新します。
- ポリシーファイルをバージョン20.8.0以降に更新します。
- 組織がサードパーティ製アプリを使用している場合は、MAM SDKフレームワークに切り替える前に、MAM SDKをサードパーティ製アプリに組み込むようにしてください。管理対象アプリはすべて、一度にMAM SDKに移行する必要があります。

注:

MAM SDKは、すべてのクラウドベースのお客様でサポートされています。

制限事項

- MAM SDKは、Citrix Endpoint Management™展開環境のAndroid Enterpriseプラットフォームで公開されているアプリでサポートされています。新しく公開されたアプリの場合、デフォルトの暗号化はプラットフォームベースの暗号化です。
- MAM SDKはプラットフォームベースの暗号化のみをサポートしており、MDX暗号化はサポートしていません。
- Citrix Endpoint Managementを更新せず、モバイルアプリのポリシーファイルがバージョン20.8.0以降で実行されている場合、Secure Mailに重複するネットワークポリシーエントリが表示されます。

Citrix Endpoint ManagementでSecure Webを構成すると、デュアルモード機能により、MDX Toolkit（現在は**Legacy MDX**）を使用してアプリの管理を継続するか、新しい**MAM SDK**に切り替えてアプリを管理することができます。Citrixは**MAM SDK**への切り替えを推奨しています。MAM SDKはよりモジュール化されており、組織が使用するMDX機能のサブセットのみを使用できるようにすることを目的としています。これにより、アプリのバイナリ内およびランタイムのフットプリント全体が削減されます。

MDXまたはMAM SDKポリシーコンテナのポリシー設定には、以下のオプションがあります。

- MAM SDK
- レガシー MDX

MDXまたはMAM SDKポリシーコンテナポリシーでは、オプションを**Legacy MDX**からMAM SDKに変更することのみ可能です。MAM SDKから**Legacy MDX**への切り替えは許可されておらず、アプリを再公開する必要があります。デフォルト値はMDX Legacyです。同じデバイスで実行されているSecure MailとSecure Webの両方に同じポリシーモードを設定してください。同じデバイスで2つの異なるモードを実行することはできません。

セキュアウェブ 20.7.5

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 20.7.0

マルチタスクのサポート。iOS版Secure Webでは、マルチタスクを使用して2つのアプリを同時に使用できます。この機能を有効にするには、Dockからアプリをドラッグします。画面の右端または左端にスライドさせて分割し、2つのアプリで画面を有効にします。

モバイル生産性向上アプリの最新情報については、記事「[最近のお知らせ](#)」を参照してください。

セキュアウェブ 20.6.0

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 20.5.0

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 20.4.5

新しいタブでブックマークに移動します。iOS版Secure Webでは、新しいタブを開いたときにブックマークを表示、編集、および移動できます。

Secure Web 19.10.5から20.4.0

これらのリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 19.10.0

Secure Web iOSおよびAndroidは暗号化管理をサポートします。暗号化管理を使用すると、最新のデバイスプラットフォームセキュリティを利用でき、同時に、デバイスがプラットフォームセキュリティを効果的に使用できる十分な状態を維持することも保証します。暗号化管理を使用することで、ファイルシステム暗号化はそれぞれのiOSまたはAndroidプラットフォームによって提供されるため、ローカルデータ暗号化の冗長性を排除できます。この機能を有効にするには、管理者はCitrix Endpoint Managementコンソールで、**Encryption type** MDXポリシーを**Platform encryption with compliance enforcement**に構成する必要があります。

暗号化管理を使用すると、最新のデバイスプラットフォームセキュリティを利用でき、同時に、デバイスがプラットフォームセキュリティを効果的に使用できる十分な状態を維持することも保証します。暗号化管理を使用することで、ファイルシステム暗号化はiOSまたはAndroidプラットフォームによって提供されるため、ローカルデータ暗号化の冗長性を排除できます。この機能を有効にするには、管理者はCitrix Endpoint Managementコンソールで、**Encryption type** MDXポリシーを**Platform encryption with compliance enforcement**に構成する必要があります。

暗号化の種類

暗号化管理機能を使用するには、Citrix Endpoint Managementコンソールで、**Encryption type**ポリシーを**Platform encryption with compliance enforcement**に設定します。暗号化管理が有効になります。ユーザーのデバイス上の既存の暗号化されたアプリケーションデータはすべて、MDXではなくデバイスによって暗号化された状態にシームレスに移行します。この移行中、アプリは1回限りのデータ移行のために一時停止されます。移行が成功すると、ローカルに保存されたデータの暗号化の責任はMDXからデバイスプラットフォームに転送されます。MDXは、アプリの起動

ごとにデバイスのコンプライアンスチェックを続行します。この機能は、MDM + MAM環境とMAMのみの環境の両方で機能します。

Encryption typeポリシーを**Platform encryption with compliance enforcement**に設定すると、新しいポリシーが既存のMDX暗号化に優先します。

Secure Webの暗号化管理MDXポリシーの詳細については、次の**Encryption**セクションを参照してください。

- [iOS向けモバイル生産性アプリのMDXポリシー](#)
- [Android向けモバイル生産性アプリのMDXポリシー](#)

非準拠デバイスの動作

デバイスが最小コンプライアンス要件を下回った場合、**非準拠デバイスの動作**ポリシーにより、実行するアクションを選択できます。

- **アプリを許可** – アプリを通常どおり実行することを許可します。
- **警告後にアプリを許可** – アプリが最小コンプライアンス要件を満たしていないことをユーザーに警告し、アプリの実行を許可します。これがデフォルト値です。
- **アプリをブロック** – アプリの実行をブロックします。

デバイスが最小コンプライアンス要件を満たしているかどうかは、以下の基準によって決定されます。

iOSを実行しているデバイス:

- iOS 10: アプリが指定されたバージョン以上のオペレーティングシステムバージョンで実行されていること。
- デバッガーアクセス: アプリでデバッグが有効になっていないこと。
- ジェイルブレイクされたデバイス: アプリがジェイルブレイクされたデバイスで実行されていないこと。
- デバイスのパスコード: デバイスのパスコードがオンになっていること。
- データ共有: アプリでデータ共有が有効になっていないこと。

Androidを実行しているデバイス:

- Android SDK 24 (Android 7 Nougat): アプリが指定されたバージョン以上のオペレーティングシステムバージョンで実行されています。
- デバッガーアクセス: アプリでデバッグが有効になっていません。

- ルート化されたデバイス: アプリがルート化されたデバイスで実行されていません。
- デバイスロック: デバイスのパスコードがオンになっています。
- デバイスの暗号化: アプリが暗号化されたデバイスで実行されています。

セキュアウェブ 19.9.5

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 19.9.0

iOS用 セキュアウェブ

iOS用Secure WebはiOS 13をサポートしています。

Android用 セキュアウェブ

このリリースにはバグ修正が含まれています。

Android用 セキュアウェブ 19.8.5

Android用Secure WebはAndroid Qをサポートしています。

セキュアウェブ 19.8.0

このリリースにはバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 19.7.5

iOS向け セキュアウェブ

このリリースには、パフォーマンスの強化とバグ修正が含まれています。

Android版 セキュアウェブ

このリリース以降、Android版Secure WebはAndroid 6以降を実行しているデバイスでのみサポートされます。

Secure Web 19.3.0から19.6.5

これらのリリースには、パフォーマンスの強化とバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 19.2.0

Secure Webでリンクを開き、データを安全に保つ。Secure Webでは、専用のVPNトンネルにより、ユーザーは機密情報を含むサイトに安全にアクセスできます。この機能はすでにiOS版Secure

Webで利用可能でした。このリリースではAndroidのサポートが追加されました。詳細については、「[Secure Webの機能](#)」を参照してください。

Secure Webバージョン18.11.5から19.1.5

これらのリリースには、パフォーマンスの強化とバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 18.11.0

iOS版Secure Webでは、サイトのキャッシュサイズリストは報告されなくなり、アプリ設定にも表示されません。デフォルトのキャッシュ機能は変更ありません。

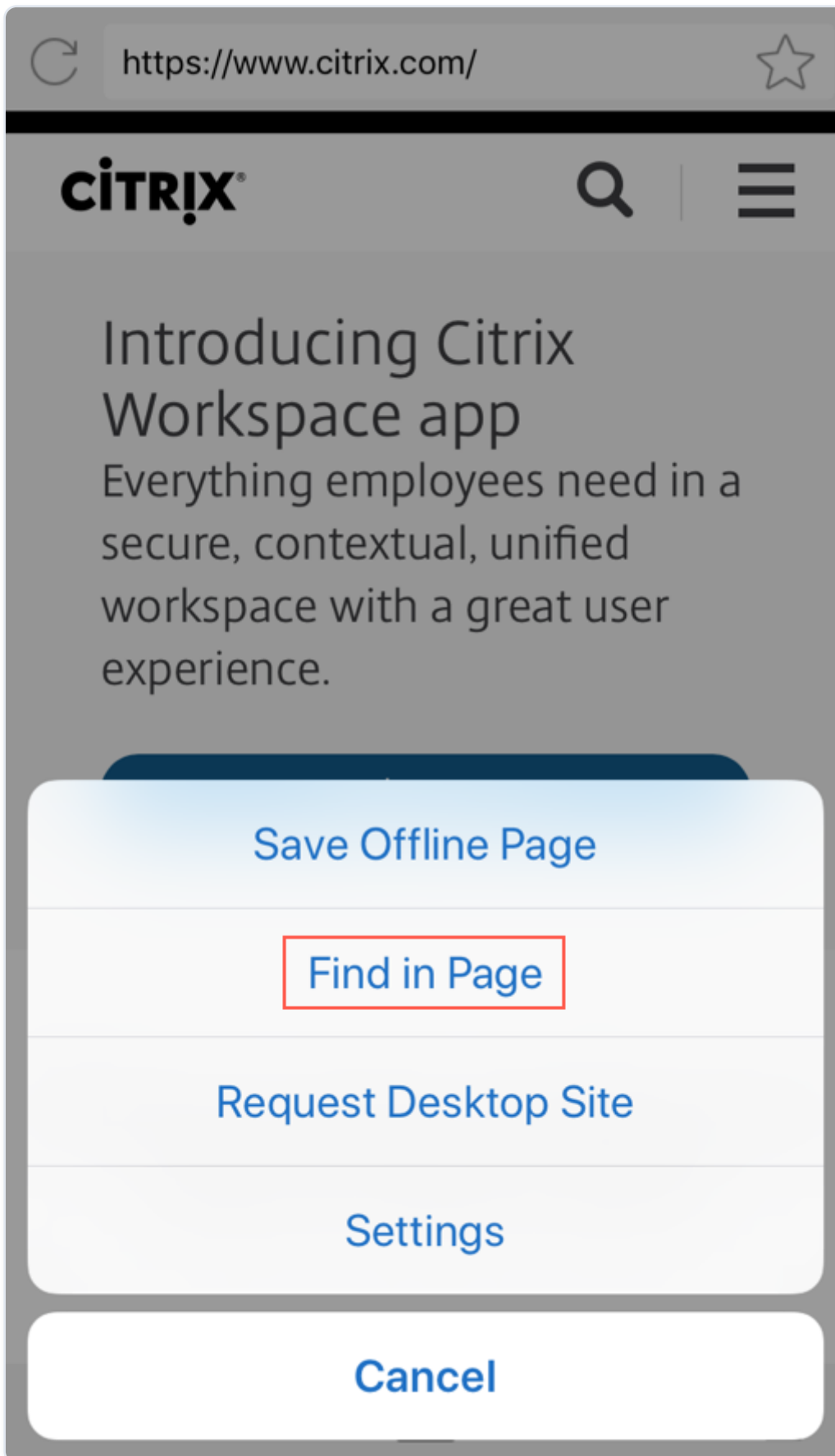
Secure Web 18.9.0から18.10.5

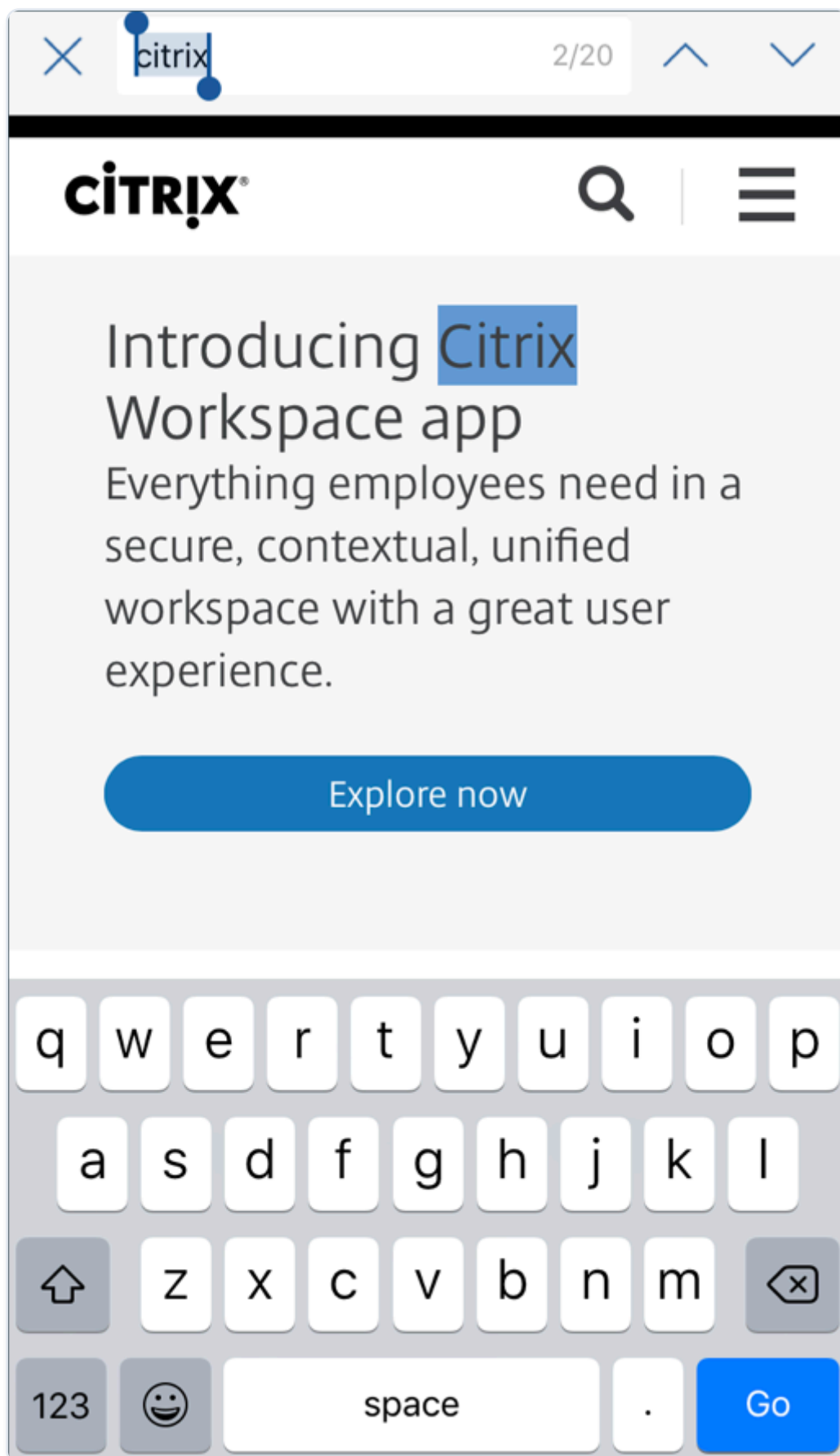
これらのリリースには、パフォーマンスの強化とバグ修正が含まれています。

セキュアウェブ 10.8.65

Secure Web 10.8.65 の新機能は次のとおりです。

- **プルして更新。** iOS 版 Secure Web では、ユーザーはプルして更新機能を使用して画面上のデータを更新できます。
- **ページ内検索オプションを使用した検索。** ページ内検索オプションを使用すると、文字列を即座に検索できます。このオプションは、検索時にキーワードをハイライト表示し、ツールバーの右側に合計一致数を表示します。再起動しても、この機能は最後に検索されたキーワードを保持します。





- スクロールしてヘッダーとフッターバーを非表示にする。iOS 版 Secure Web では、スクロールするとヘッダーとフッターバーが非表示になり、Web ページを表示する際にモバイル画面により多くの情報が表示されます。

セキュアウェブ 10.8.60

- ポーランド語のサポート

セキュアウェブ 10.8.35

- プルして更新。Android 版 Secure Web では、ユーザーはプルして更新機能を使用して画面上のデータを更新できます。

セキュアウェブ 10.8.15

- Secure Web は、以前は Android for Work と呼ばれていた Android Enterprise をサポートしています。Secure Mail で Android Enterprise アプリを使用して、個別の仕事用プロファイルを作成できます。詳細については、「[Secure Mail の Android Enterprise](#)」を参照してください。
- Android 版 Secure Web は、Web ページをデスクトップモードでレンダリングできます。オーバーフローメニューから、デスクトップサイトをリクエストを選択します。Secure Web は Web サイトのデスクトップバージョンを表示します。

セキュアウェブ 10.8.10

- iOS版Secure Webは、Webページをデスクトップモードでレンダリングできます。ハンバーガーメニューから「デスクトップ用サイトを表示」を選択すると、Secure WebはWebサイトのデスクトップ版を表示します。

iOS版Secure Webの「デスクトップ用サイトを表示」オプションの画像(/en-us/mobile-productivity-apps/media/SWeb-view-desktop-mode.png)

セキュアウェブ 10.8.5

iOSおよびAndroid版Secure MailとSecure Webは、フォント、色、その他のUI改善を刷新しました。この刷新により、Citrixブランドの美学に沿った、より豊かなユーザーエクスペリエンスが当社の全アプリスイートで提供されます。

既知の問題と修正された問題

Citrix®は、モバイル生産性アプリの最新2バージョンからのアップグレードをサポートしています。

iOS用セキュアウェブ 26.8.0

修正された問題

- iOS 27を実行しているデバイスで、Secure Webが白い画面を表示する場合があります。

既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Android用セキュアウェブ 26.5.0

修正された問題

- Android用Secure Webがバックグラウンドで数時間アイドル状態になると、`net::ERR_NO_SUPPORTED_PROXIES` エラーが表示される場合があります。
- Android Citrix Secure Web MAM SDKのセッションが、予期せず早くタイムアウトする場合があります。
- MAM SDKでゲートウェイ証明書の更新が期待どおりに機能しない場合があります。

既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

iOS用セキュアウェブ 26.5.0

修正された問題

- Secure Web でファイルのダウンロードが失敗する場合があります。
- Secure Web で特定の URL にアクセスできない場合があります。

- Secure Hub が削除された後、またはデバイスの登録が解除された後も、Secure Web が利用可能なままになる場合があります。
- 完全な Web アドレスを入力しないと、Secure Web がサイトに直接アクセスできない場合があります。

既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

アンドロイド用 セキュアウェブ 26.2.0

修正された問題

Secure Web のテーマがモバイルシステムのテーマと一致しない場合、サードパーティ製アプリからリダイレクトされた後、Secure Web が予期されたリンクではなく常にホームページのリンクを開くことがあります。

既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

アイオーエス用 セキュアウェブ 25.9.0

修正された問題

- Secure Web がイントラネット URL にアクセスできない場合があります。
- Secure Web をバージョン 25.5.0 にアップデートした後、イントラネットサイトがロードされない場合があります。
- AG セッションの有効期限が切れると、Secure Web が動作しなくなる場合があります。
- MDX ポリシーでネットワークポリシーが「無制限」に設定されている場合、Secure Web が PDF ファイルをダウンロードできない場合があります。

既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Android版 セキュアウェブ 25.8.0

修正された問題

- ダークモードでサードパーティ通知ページを表示しようとする、一部の要素が適切に表示されない場合があります。
- 折りたたみ式スマートフォンまたはタブレットでアプリを使用しようとする、ユーザーインターフェイスが適切に表示されるように、さらなる最適化が必要になる場合があります。

既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Android版 セキュアウェブ 25.6.0

修正された問題

Secure Web for Androidを登録して展開すると、証明書の取得に失敗する場合があります。

既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

iOS版 セキュアウェブ 25.5.0

修正された問題

- Secure WebでイントラネットURLにアクセスすると、アプリで404エラーが発生する場合があります。
- 証明書更新後にSecure Webで内部URLを開こうとすると、アプリで開けない場合があります。

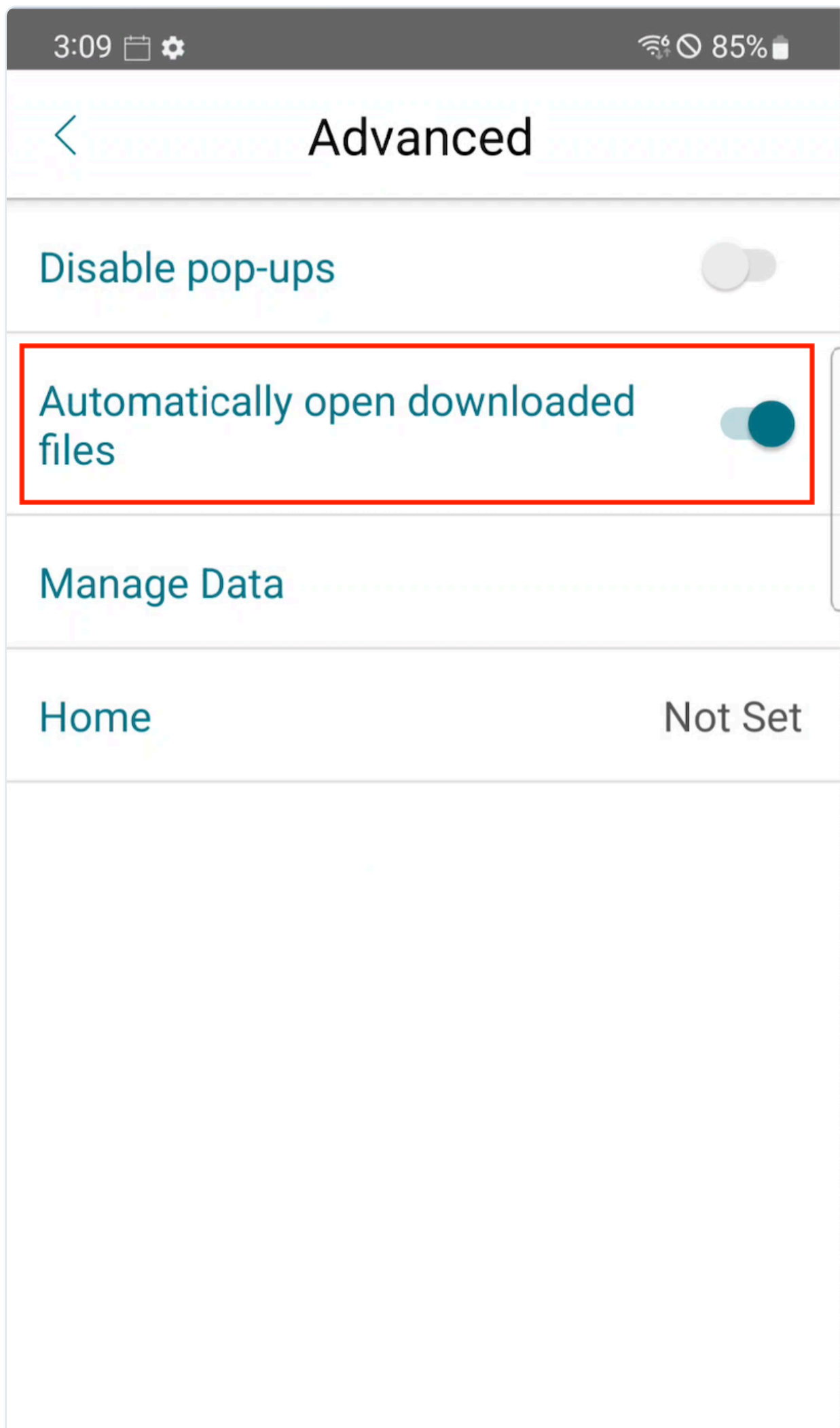
既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Android版 セキュアウェブ 25.3.0

修正された問題

- ユーザーがCitrix Secure Web™内のリンクからPDFにアクセスしようとする、PDFはダウンロードされますが、ユーザーは表示できません。



- Secure Webは、以前は動作していたサイトに一定期間経過後アクセスできなくなります。

既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

iOS版 セキュアウェブ 25.1.0

修正された問題

iOS 18上のCitrix Secure Webで写真ライブラリから画像をアップロードしようとする、エラーメッセージなしでアップロードが失敗します。

既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Android版 セキュアウェブ 25.1.0

修正された問題

このバージョンでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させるための修正が行われています。

既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

iOS版 セキュアウェブ 24.11.0

修正された問題

このリリースには修正された問題はありません。

既知の問題

iOS 18デバイスでは、ユーザーはSecure Webで写真ライブラリオプションを使用して画像をアップロードできません。回避策として、ユーザーは写真アプリからファイルアプリに画像を保存し、ファイルを選択オプションを使用してアップロードできます。

Android版 セキュアウェブ 24.9.0

修正された問題

このリリースには、修正された問題はありません。

既知の問題

このリリースには、既知の問題はありません。

iOS 用 セキュアウェブ 24.9.0

修正された問題

このリリースには、修正された問題はありません。

既知の問題

このリリースには、既知の問題はありません。

Android 用 セキュアウェブ 24.8.0

修正された問題

Secure Web を介して BVCM という Web アプリにアクセスすると、PDF 形式のレポートをダウンロードできない場合があります。

既知の問題

このリリースには、既知の問題はありません。

iOS 用 セキュアウェブ 24.3.0

修正された問題

エンドユーザーがiPadデバイスでアプリを開こうとすると、Secure Webが応答を停止します。この問題は、iPadバージョン17.3.1以降を実行しているデバイスに固有のものです。

既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Android用 セキュアウェブ 24.3.0

修正された問題

既存の証明書が期限切れになっていない場合でも、公開鍵インフラストラクチャ (PKI) サーバーは Secure Webから新しい証明書を取得するための多くのリクエストを受け取ります。この問題は、Android 14デバイスに固有のものです。

既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

アイオーエス用 セキュアウェブ 24.2.0

このリリースには、修正された問題も既知の問題もありません。

Android用 セキュアウェブ 24.1.0

このリリースには、修正された問題も既知の問題もありません。

アイオーエス用 セキュアウェブ 23.9.0

このリリースには、修正された問題も既知の問題もありません。

Android版 セキュアウェブ 23.8.0

このリリースには、修正済みの問題と既知の問題はありません。

Android版 セキュアウェブ 23.7.0

このリリースには、修正済みの問題と既知の問題はありません。

Android版 セキュアウェブ 23.5.0

このリリースには、修正済みの問題と既知の問題はありません。

以前のバージョンにおける既知の問題と修正済みの問題

以前のバージョンのSecure Webにおける既知の問題と修正済みの問題については、「以前のバージョンにおける既知の問題と修正済みの問題」([/ja-jp/citrix-secure-web/known-fixed-issues-history.html](https://ja-jp/citrix-secure-web/known-fixed-issues-history.html))を参照してください。

Secure Web の既知の問題と修正された問題の履歴

この記事では、Secure Web の最近サポートされているバージョンよりも前のバージョンにおける、修正された問題と既知の問題を一覧表示します。

最新のドキュメントについては、「Secure Web の新機能」(</ja-jp/citrix-secure-web/whats-new.html>)を参照してください。

セキュアウェブ 23.3.5

Android 用 Secure Web の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Android 用 Secure Web の修正された問題

このリリースには修正された問題はありません。

セキュアウェブ 23.2.0

iOS および Android 用 Secure Web の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

iOS および Android 用 Secure Web の修正された問題

このリリースには修正された問題はありません。

セキュアウェブ 22.9.1

iOS 用 Secure Web の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

iOS版Secure Webの修正済み問題

- バージョン22.3.0または22.6.0からバージョン22.9.0にアップグレードすると、以下の保存データが失われる可能性があります。
 - ブックマーク
 - ダウンロード
 - ホームページ設定
 - オフラインページ

セキュアウェブ 22.9.0

iOSおよびAndroid版Secure Webの既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

iOSおよびAndroid版Secure Webの修正済み問題

このリリースには修正済みの問題はありません。

セキュアウェブ 22.6.0

Android版Secure Webの既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Android版Secure Webの修正済み問題

- Android版Secure Webでファイルをアップロードしようとする、カメラまたはファイルフォルダが表示されません。
- Android Enterpriseデバイスでは、Secure Webで会議リンクを開くことができません。次のエラーが表示されます: 「このリンクを開く前に、Secure Webを少なくとも一度開いてください。」
- アプリを開くと、iOS版Secure MailおよびSecure Webが応答しなくなります。

セキュアウェブ 22.3.0

iOS版Secure Webの既知の問題

このリリースには既知の問題も修正済みの問題もありません。

セキュアウェブ 22.2.0

Android版Secure Web 22.2.0の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

セキュアウェブ 21.12.0

Android版Secure Web 21.12.0の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません

セキュアウェブ 21.11.0

Android版Secure Web 21.11.0の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 21.11.0 で修正された問題

- Android 版 Secure Web では、一部のデバイスで 21.10.x をインストールしたり、バージョン 21.10.x にアップグレードしたりできません。

セキュアウェブ 21.10.5

Secure Web 21.10.5 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 21.10.5 で修正された問題

- Android 版 Secure Web で特定の Web ページを表示中に、戻るボタンをクリックして前のページに戻ると、「net::ERR_CACHE_MISS」というエラーが発生します。
- Android 版 Secure Web では、イントラネット Web サイトのハイパーリンクをクリックすると、イントラネット Web サイトが開かずに Google 検索ページが開きます。

セキュアウェブ 21.10.0

このリリースには既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 21.9.1

このリリースには既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 21.9.0

このリリースには既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアWeb 21.8.5

このリリースには、既知の問題も修正済みの問題もありません。

セキュアWeb 21.8.0

Secure Web 21.8.0 の既知の問題

このリリースには、修正済みの問題はありません。

セキュアWeb 21.7.0

Secure Web 21.7.0 の既知の問題

このリリースには、修正済みの問題はありません。

Secure Web 21.7.0 の修正済みの問題

- 画像をアップロードしようとする、Secure Web for Android が応答しなくなります。
- Secure Web for Android を使用して utf-8 が有効なファイルをダウンロードすると、ファイル名が正しくない状態でダウンロードされます。

セキュアWeb 21.6.0

このリリースには、既知の問題も修正済みの問題もありません。

セキュアWeb 21.5.0

iOS向けセキュアWeb

このリリースには、既知の問題も修正済みの問題もありません。

セキュアウェブ 21.4.5

Android 用セキュアウェブ

このリリースには、既知の問題も修正済みの問題也没有ありません。

セキュアウェブ 21.3.5

Android 用セキュアウェブ

このリリースには、既知の問題も修正済みの問題也没有ありません。

セキュアウェブ 21.3.0

Android 用セキュアウェブ

このリリースには、既知の問題も修正済みの問題也没有ありません。

セキュアウェブ 21.2.0

このリリースには、既知の問題も修正済みの問題也没有ありません。

セキュアウェブ 21.1.5

このリリースには、既知の問題も修正済みの問題也没有ありません。

セキュアウェブ 21.1.0

このリリースには、既知の問題や修正済みの問題はありません。

セキュアウェブ 20.12.0

iOS 用セキュアウェブ

このリリースには、既知の問題や修正済みの問題はありません。

セキュアウェブ 20.11.0

このリリースには、既知の問題や修正済みの問題はありません。

セキュアウェブ 20.10.5

Android 用 セキュアウェブ

このリリースには、既知の問題や修正済みの問題はありません。

セキュアウェブ 20.10.0

Android 用 セキュアウェブ

このリリースには、既知の問題や修正済みの問題はありません。

セキュアウェブ 20.9.5

iOS 用 セキュアウェブ

このリリースには、既知の問題や修正済みの問題はありません。

セキュアウェブ 20.9.0

このリリースには、既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 20.8.5

このリリースには、既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 20.8.0

Secure Web 20.8.0 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 20.8.0 で修正された問題

- iOS 版 Secure Web では、社内サイトに画像をアップロードできません。
- iOS を実行しているデバイスでは、Secure Web がブックマークへのアクセス中にフリーズします。

セキュアウェブ 20.7.5

このリリースには、既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 20.7.0

このリリースには、既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 20.6.0

このリリースには、既知の問題も修正済みの問題もありません。

セキュアウェブ 20.5.0

iOS用セキュアウェブ

Secure Web 20.5.0の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 20.5.0の修正済みの問題

iOS用Secure Webでは、バイナリラージオブジェクト（blob）またはデータURIスキームを介してコンテンツを読み込むWebサイトを開くことができません。次のエラーが表示されます: **Secure Webはアドレスが無効なためページを開けません。**

セキュアウェブ 20.4.5

このリリースには、既知の問題も修正済みの問題もありません。

セキュアウェブ 20.4.0

Secure Web 20.4.0の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 20.4.0の修正済みの問題

iOS用Secure Webでは、Webリンクをクリックすると2つのタブが開きます。

セキュアウェブ 20.3.0

このリリースには既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 20.2.0

このリリースには既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 19.12.5

Secure Web 19.12.5 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 19.12.5 で修正された問題

iOS を実行しているデバイスで、特定のイントラネット Web サイトにアクセスしようとする
Secure Web がクラッシュします。

Secure Web 19.10.0 から 19.11.5

これらのリリースには既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 19.9.5

Secure Web 19.9.5 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 19.9.5 で修正された問題

- Android 版 Secure Web で、プロキシサーバー機能が動作しません。
- Android版Secure Webで、**MDXプライベートファイル暗号化ポリシー**が有効になっており、**Open-In除外リスト**ポリシーにデバイスカメラのパッケージ名が含まれていない場合、カメラアプリから画像を添付できません。カメラからWebサイトに画像を添付できるようにするには、デバイスカメラのパッケージ名を**Open-In除外リスト**ポリシーに追加してください。

セキュアウェブ 19.9.0

Secure Web 19.9.0における既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 19.9.0における修正された問題

Android版Secure Webを使用してカメラから画像を添付すると、0KBのファイルが添付されます。

セキュアウェブ 19.8.5

Android版Secure Web 19.8.5における既知の問題と修正された問題

このリリースには既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 19.8.0

Secure Web 19.8.0における既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 19.8.0の修正された問題

- Androidデバイスでは、スプリットトンネルがオンの場合、Secure WebはWebサイトのエイリアスにアクセスできません。
- iOS版Secure Webでは、イントラネットWebサイトが期待どおりに表示されません。

セキュアウェブ 19.7.5

Secure Web 19.7.5 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 19.7.5 の修正された問題

このリリースには修正された問題はありません。

セキュアウェブ 19.6.5

Secure Web 19.6.5 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 19.6.5 の修正された問題

iOS 版 Secure Web では、ZIP ファイルをダウンロードできません。次のエラーが表示されます:
Frame load interrupted。

セキュアウェブ 19.5.5

Secure Web 19.5.5 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 19.5.5 の修正された問題

iOS 版 Secure Web バージョン 19.1.0 および 19.1.5 では、Web フォームを送信すると空白のページが表示されます。

セキュアウェブ 19.5.0

Secure Web 19.5.0 の既知の問題と修正された問題

このリリースには、既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 19.4.5

Secure Web 19.4.5 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 19.4.5 で修正された問題

Android 版 Secure Web で、写真をアップロードする際に、最初にキャンセルするとアップロードポップアップが再度表示されません。

セキュアウェブ 19.3.5

Secure Web 19.3.5 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 19.3.5 で修正された問題

- iOS 版 Secure Web で、編集ボタンをクリックすると、フィールドのない空白のページが新しいタブに表示されます。
- iOS 版 Secure Web で、*clickit.oneok.com* を開いて既存のボタンまたはリンクをクリックすると、誤った場所が開きます。

- iOS 版 Secure Web で、ブックマークを作成して開くと、URL 内の「#」記号が「%23」に変換されます。Web ページは開きません。

セキュアウェブ 19.3.0

このリリースには、既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 19.2.0

このリリースには、既知の問題も修正された問題もありません。

Secure Web 19.1.5 で修正された問題

iOS 版 Secure Web では、.dwg 拡張子の PDF ファイルをダウンロードできません。

セキュアウェブ 19.1.0

Secure Web 19.1.0 の既知の問題と修正された問題

バージョン 19.1.0 には、既知の問題も修正された問題もありません。

セキュアウェブ 18.12.0

Secure Web 18.12.0 の既知の問題

iOS 版 Secure Web では、CNBC などの外部 Web サイトからの埋め込みビデオを表示できません。

セキュアウェブ 18.11.5

Secure Web 18.11.5 の既知の問題

iOS 版 Secure Web で UIWebView を使用してビデオを再生すると、ビデオを複数回全画面表示に拡大したときにメディアプレーヤーがクラッシュします。

Secure Web 18.11.0 の修正された問題

- Secure Web for iOS では、AirPrint を使用してファイルを印刷できません。Secure Web for iOS は AirPrint をサポートしていません。

- Secure Web for iOS では、一部の Web サイトが正しくスケーリングされず、Web ページが拡大表示されます。
- Secure Web for iOS では、トルコ語の特定の Web サイトを表示すると、特殊文字が断続的に表示されます。

セキュアウェブ 10.8.65

Secure Web 10.8.65 の既知の問題

Secure Web for iOS では、Workspace 環境から内部サイトにアクセスできませんが、外部サイトにはアクセスできます。

Secure Web 10.8.65 の修正された問題

Secure Web for iOS では、Workspace 環境から内部サイトにアクセスできませんが、外部サイトにはアクセスできます。

セキュアウェブ 10.8.60

Secure Web 10.8.60 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません

Secure Web 10.8.60 の修正された問題

Secure Web for iOS は、新規インストール時に Secure Hub から起動するとクラッシュします。

セキュアウェブ 10.8.55

Secure Web 10.8.55 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 10.8.55 で修正された問題

iOS 版 Secure Web では、特定の Web ページがデバイスに正常に読み込まれているにもかかわらず、回転アイコンが表示されます。

セキュアウェブ 10.8.50

Secure Web 10.8.50 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 10.8.50 で修正された問題

- ドキュメント交換ポリシーが制限付きに設定されている場合、Secure Web はファイルのダウンロードを試行した後、動作を停止します。
- iOS 版 Secure Web は、ログイン資格情報を送信するとクラッシュします。この問題は、Secure Web がセキュアな Web ページから非セキュアな Web ページにデータを投稿しようとすると、断続的に発生します。

セキュアウェブ 10.8.45

Secure Web 10.8.45 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 10.8.45 で修正された問題

- dnsResolve が定義されたプロキシ自動構成ファイルがフルトンネルモードで構成されている場合、Secure Web でのブラウジングが著しく遅くなります。
- 画面をピンチインしてズームすると、Android版Secure Webがウェブページを更新します。

セキュアウェブ 10.8.40

Secure Web 10.8.40における既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 10.8.40で修正された問題

iOS版Secure Webでは、デスクトップモードに切り替えると、ウェブページが正しくレンダリングされません。この問題は、モバイルモードに切り替えたときに断続的に発生します。

セキュアウェブ 10.8.26

Secure Web 10.8.26における既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 10.8.26で修正された問題

- Chrome 67以降へのアップデートにより: Tunneled – Web SSOを使用してAndroid版Secure Web経由でイントラネットサイトにアクセスすると、問題が発生します。

セキュアウェブ 10.8.10

Secure Web 10.8.10における既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

Secure Web 10.8.10で修正された問題

- Secure Web for iOSをバージョン10.7.25にアップデートした後、ユーザーはSkype会議に参加できません。代わりに、LyncアプリのApp Storeが開きます。
- Secure Web for Androidを含むWebView APIを使用するデバイスでは、MDXポリシーのBlock Galleryが**OFF**に設定されていても、ギャラリーから画像を添付できません。

Secure Web for AndroidおよびiOS - プレビュー

次期リリースで提供される新機能と解決済みの問題にご期待ください。

現在のリリースに関する詳細については、[Secure Webの新機能](#)を参照してください。

機能フラグ管理

管理者は、プレビュー機能にアクセスし、本番環境で機能を動的に制御するために、機能フラグを管理できます。機能フラグの下にある機能が最適に機能するようにするには、URL `features.netscalergateway.net` へのトラフィックを有効にする必要があります。詳細については、[機能フラグ管理](#) を参照してください。

Secure Web の統合と展開

Secure Web を統合して配信するには、次の一般的な手順に従います。

1. 内部ネットワークへのシングルサインオン (SSO) を有効にするには、Citrix Gateway を構成します。

HTTP トラフィックの場合、Citrix ADC は、Citrix ADC がサポートするすべてのプロキシ認証タイプに対して SSO を提供できます。HTTPS トラフィックの場合、Web パスワードキャッシュポリシーにより、Secure Web は MAM SDK を介してプロキシサーバーへの認証と SSO を提供できます。MSM SDK は、基本、ダイジェスト、および NTLM プロキシ認証のみをサポートします。パスワードは MAM SDK を使用してキャッシュされ、機密性の高いアプリデータの安全なストレージ領域である Endpoint Management 共有ボールドに保存されます。Citrix Gateway の構成の詳細については、「[Citrix Gateway](#)」を参照してください。

2. Secure Web をダウンロードします。
3. 内部ネットワークへのユーザー接続をどのように構成するかを決定します。
4. 他の MDX アプリと同じ手順を使用して Secure Web を Endpoint Management に追加し、MAM SDK ポリシーを構成します。Secure Web に固有のポリシーの詳細については、「[Secure Web ポリシーについて](#)」を参照してください。

ユーザー接続の構成

Secure Web は、ユーザー接続に対して次の構成をサポートしています。

- **トンネル化 - Web SSO:** 内部ネットワークにトンネル接続する接続では、クライアントレス VPN の一種であるトンネル化 - Web SSO を使用できます。
- **リバーススプリットトンネリング:** リバースモードでは、イントラネットアプリケーションのトラフィックは VPN トンネルをバイパスし、その他のトラフィックは VPN トンネルを通過します。このポリシーは、すべての非ローカル LAN トラフィックをログに記録するために使用できます。

スプリットトンネリング

スプリットトンネリングモードでは、イントラネットアプリケーションのトラフィックはVPNを介してルーティングされ、その他のトラフィックはバイパスされます。この機能により、VPN保護を必要としないアプリケーションのパフォーマンスが向上し、インターネットに接続されている場合に内部リソースにアクセスする際のセキュリティも確保されます。

Android と iOS の両方で、スプリットトンネリングがオンの場合、2つのオプションがあります。

- **イントラネット IP アドレス範囲を定義する:** Secure Web (mVPN を使用) を開いて、定義した IP アドレス (例: `https://10.8.0.8`) を使用することで、イントラネットサイトにアクセスできます。
- **ワイルドカードをサポートするイントラネットアプリケーションを定義します:** Secure Web (mVPNを使用) を開き、定義したドメインアドレス (例: `https://abc.example.com`) を使用してイントラネットサイトにアクセスできます。

リバーススプリットトンネリングの構成手順

Citrix Gatewayでスプリットトンネリングリバースモードを構成するには、次の手順を実行します。

1. **ポリシー > セッションポリシー**に移動します。
2. Secure Hubポリシーを選択し、**クライアントエクスペリエンス > スプリットトンネル**に移動します。
3. **REVERSE**を選択します。

リバーススプリットトンネルモード除外リストMDXポリシー

Citrix Endpoint Management内から除外範囲を使用して、リバーススプリットトンネルモードポリシーを構成します。この範囲は、DNSサフィックスとFQDNのコンマ区切りリストに基づいています。このリストは、トラフィックをデバイスのLAN経由でルーティングし、Citrix ADCに送信しないURLを定義します。

次の表は、構成とサイトの種類に基づいて、Secure Webがユーザーに資格情報を要求するかどうかを示しています。

接続モード	サイトの種類	パスワード キャッシュ	CITRIX GATEWAY用に構成 された SSO	WEBサイ トへの初回 アクセス時 に SECURE WEBが資 格情報を要 求する	WEBサイ トへの以降 のアクセス 時に SECURE WEBが資 格情報を要 求する	パスワード 変更後に SECURE WEBが資 格情報の入 力を求めま す
トンネル 化 - Web SSO	HTTP	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ
トンネル 化 - Web SSO	HTTPS	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ

Secure Webポリシー

Secure Webを追加する際は、Secure Webに固有のMAM SDKポリシーに注意してください。サポートされているすべてのモバイルデバイスの場合：

許可またはブロックされたWebサイト

Secure Webは通常、Webリンクをフィルタリングしません。このポリシーを使用して、許可またはブロックするサイトの特定のリストを構成できます。ブラウザが開くことができるWebサイトを制限するために、URLパターンをコンマ区切りのリストとして構成します。リスト内の各パターンの前にはプラス記号 (+) またはマイナス記号 (-) が付きます。ブラウザは、一致が見つかるまで、リストされた順序でURLをパターンと比較します。一致が見つかったら、プレフィックスによって次のように実行されるアクションが決まります。

- マイナス記号 (-) のプレフィックスは、ブラウザにURLをブロックするよう指示します。この場合、URLはWebサーバーアドレスが解決できないかのように扱われます。
- プラス記号 (+) のプレフィックスは、URLが通常どおり処理されることを許可します。
- パターンに+も-も指定されていない場合、+（許可）が想定されます。
- URLがリスト内のどのパターンにも一致しない場合、URLは許可されます。

他のすべてのURLをブロックするには、リストをマイナス記号の後にアスタリスク (*) を付けて終了します。例：

- ポリシー値 `+http://*.mycorp.com/*,-http://*,+https://*,+ftp://*,-*` は、`mycorp.com` ドメイン内のHTTP URLを許可しますが、それ以外の場所ではブロックし、HTTPSおよびFTP URLはどこでも許可し、他のすべてのURLをブロックします。
- ポリシー値 `+http://*.training.lab/*,+https://*.training.lab/*,-*` は、ユーザーがHTTPまたはHTTPS経由でTraining.labドメイン（イントラネット）内の任意のサイトを開くことを許可します。このポリシー値は、プロトコルに関係なく、Facebook、Google、HotmailなどのパブリックURLをユーザーが開くことを許可しません。

デフォルト値は空です（すべてのURLが許可されます）。

ポップアップをブロックする

ポップアップとは、Webサイトがユーザーの許可なく開く新しいタブのことです。このポリシーは、Secure Webがポップアップを許可するかどうかを決定します。「オン」の場合、Secure WebはWebサイトがポップアップを開くのを防ぎます。デフォルト値は「オフ」です。

事前読み込みされたブックマーク

Secure Webブラウザ用のブックマークのプリロードセットを定義します。このポリシーは、フォルダー名、フレンドリ名、Webアドレスを含むタブルのコンマ区切りリストです。各トリプレットは、`folder, name, url` の形式である必要があり、`folder` と `name` はオプションで二重引用符 (") で囲むことができます。

例えば、ポリシー値 `"Mycorp, Inc. home page",https://www.mycorp.com, "MyCorp Links",Account logon,https://www.mycorp.com/Accounts "MyCorp Links/Investor Relations", "Contact us",https://www.mycorp.com/IR/Contactus.aspx` は3つのブックマークを定義します。1つ目は「Mycorp, Inc. home page」というタイトルのプライマリリンク（フォルダー名なし）です。2つ目のリンクは「MyCorp Links」というタイトルのフォルダーに配置され、「Account logon」とラベル付けされています。3つ目は「MyCorp Links」フォルダーの「Investor Relations」サブフォルダーに配置され、「Contact us」と表示されます。

デフォルト値は空です。

ホームページURL

Secure Webの起動時に読み込まれるWebサイトを定義します。デフォルト値は空です（デフォルトのスタートページ）。

サポートされているAndroidおよびiOSデバイスのみ：

ブラウザのユーザーインターフェイス

セキュアウェブのブラウザユーザーインターフェイスコントロールの動作と表示を規定します。通常、すべてのブラウジングコントロールが利用可能です。これには、進む、戻る、アドレスバー、および更新/停止コントロールが含まれます。このポリシーを構成することで、一部のコントロールの使用と表示を制限できます。デフォルト値は「すべてのコントロールを表示」です。

オプション：

- **すべてのコントロールを表示。** すべてのコントロールが表示され、ユーザーはそれらの使用を制限されません。
- **読み取り専用アドレスバー。** すべてのコントロールが表示されますが、ユーザーはブラウザのアドレスフィールドを編集できません。
- **アドレスバーを非表示。** アドレスバーは非表示になりますが、他のコントロールは非表示になりません。
- **すべてのコントロールを非表示。** ツールバー全体を非表示にし、フレームレスのブラウジングエクスペリエンスを提供します。

Webパスワードのキャッシュを有効にする

Secure WebユーザーがWebリソースにアクセスまたは要求する際に資格情報を入力すると、このポリシーはSecure Webがデバイスにパスワードをサイレントキャッシュするかどうかを決定します。このポリシーは、認証ダイアログで入力されたパスワードに適用され、Webフォームで入力されたパスワードには適用されません。

オンの場合、Secure WebはユーザーがWebリソースを要求する際に入力するすべてのパスワードをキャッシュします。オフの場合、Secure Webはパスワードをキャッシュせず、既存のキャッシュされたパスワードを削除します。デフォルト値はオフです。

プロキシサーバー

Secure Webをトンネル化されたWeb SSOモードで使用する場合、プロキシサーバーを構成することもできます。詳細については、この[ブログ投稿](#)を参照してください。

DNSサフィックス

Androidでは、DNSサフィックスが構成されていない場合、VPNが失敗する可能性があります。DNSサフィックスの構成の詳細については、[AndroidデバイスのDNSサフィックスを使用したDNSクエリのサポート](#)を参照してください。

Secure Web用のイントラネットサイトの準備

このセクションは、AndroidおよびiOS用Secure Webで使用するイントラネットサイトを準備する必要があるWebサイト開発者向けです。デスクトップブラウザ向けに設計されたイントラネットサイトは、AndroidおよびiOSデバイスで適切に動作するために変更が必要です。

Secure Webは、Webテクノロジーのサポートを提供するためにAndroid WebViewおよびiOS WkWebViewに依存しています。Secure WebでサポートされているWebテクノロジーの一部は次のとおりです。

- AngularJS
- ASP .NET
- JavaScript
- jQuery
- WebGL

Secure WebでサポートされていないWebテクノロジーの一部は次のとおりです。

- フラッシュ
- ジャバ

以下の表は、Secure Web でサポートされている HTML レンダリング機能とテクノロジーを示しています。「X」は、その機能がプラットフォーム、ブラウザ、およびコンポーネントの組み合わせで利用可能であることを示します。

テクノロジー	IOS用セキュアウェブ	ANDROID用セキュアウェブ
JavaScript エンジン	JavaScriptCore	V8
ローカルストレージ	X	X
AppCache	X	X
IndexedDB		X
SPDY	X	
WebP		X
スルセット	X	X

テクノロジー	IOS用セキュアウェブ	ANDROID用セキュアウェブ
WebGL		X
requestAnimationFrame API		X
ナビゲーションタイミング API		X
リソースタイミングAPI		X

テクノロジーはデバイス間で同じように動作しますが、Secure Web はデバイスごとに異なるユーザーエージェント文字列を返します。Secure Web で使用されているブラウザのバージョンを特定するには、そのユーザーエージェント文字列を表示します。Secure Web のログからユーザーエージェントを確認できます。Secure Web のログを収集するには、**Secure Hub > ヘルプ > 問題の報告** に移動します。アプリのリストから Secure Web を選択します。圧縮されたログファイルが添付されたメールが届きます。

イントラネットサイトのトラブルシューティング

Secure Web でイントラネットサイトを表示したときのレンダリングの問題をトラブルシューティングするには、Secure Web と互換性のあるサードパーティ製ブラウザでウェブサイトがどのようにレンダリングされるかを比較します。

iOS の場合、テスト用の互換性のあるサードパーティ製ブラウザは Chrome と Dolphin です。

Android の場合、テスト用の互換性のあるサードパーティ製ブラウザは Dolphin です。

注:

Chrome は Android のネイティブブラウザです。比較には使用しないでください。

iOS では、ブラウザがデバイスレベルの VPN をサポートしていることを確認してください。このサポートは、デバイスの **設定 > VPN > VPN構成を追加** で構成できます。

App Store で入手可能な VPN クライアントアプリも使用できます。たとえば、[Citrix Secure Access](#)、[Cisco AnyConnect](#)、または [Pulse Secure](#) などです。

- ウェブページが両方のブラウザで同じようにレンダリングされる場合、問題はウェブサイトにあります。サイトを更新し、OS で正常に動作することを確認してください。

- ウェブページの問題が Secure Web でのみ発生する場合は、Citrix サポートに連絡してサポートチケットを開いてください。テストしたブラウザと OS の種類を含むトラブルシューティング手順を提供してください。iOS 版 Secure Web でレンダリングの問題がある場合は、次の手順で説明するように、ページのウェブアーカイブを含めることができます。そうすることで、Citrix が問題をより迅速に解決できます。

SSL接続の検証

SSL証明書チェーンが正しく構成されていることを確認してください。[SSL Certificate Checker](#) を使用して、モバイルデバイスにリンクまたはインストールされていないルートCAまたは中間CAの欠落を確認できます。

多くのサーバー証明書は、複数の階層的な認証局 (CA) によって署名されています。これは、証明書がチェーンを形成していることを意味します。これらの証明書をリンクする必要があります。証明書のインストールまたはリンクについては、「[証明書のインストール、リンク、および更新](#)」を参照してください。

Webアーカイブファイルを作成するには

macOS 10.9以降のSafariを使用すると、WebページをWebアーカイブファイル（リーディングリストと呼ばれます）として保存できます。Webアーカイブファイルには、画像、CSS、JavaScript など、リンクされているすべてのファイルが含まれます。

1. Safariから、リーディングリストフォルダーを空にします。**Finder**で、**メニューバーの移動メニュー**をクリックし、**フォルダーへ移動**を選択し、パス名 `~/Library/Safari/ReadingListArchives/` を入力します。次に、その場所にあるすべてのフォルダーを削除します。
2. **メニューバー**で、**Safari > 環境設定 > 詳細**に移動し、**メニューバーの開発メニューを表示**を有効にします。
3. **メニューバー**で、**開発 > ユーザーエージェント**に移動し、Secure Webユーザーエージェントを入力します: (Mozilla/5.0 (iPad; CPU OS 8_3 like macOS) AppleWebKit/600.1.4 (KHTML, like Gecko) Mobile/12F69 Secure Web/ 10.1.0(build 1.4.0) Safari/8536.25)。
4. Safariで、リーディングリスト（Webアーカイブファイル）として保存したいWebサイトを開きます。
5. **メニューバー**で、**ブックマーク > リーディングリスト**に追加に移動します。この手順には数分かかる場合があります。アーカイブはバックグラウンドで実行されます。
6. アーカイブされたリーディングリストを見つけます。**メニューバー**で、**表示 > リーディングリストサイドバーを表示**に移動します。

7. アーカイブファイルを確認します。

- Macへのネットワーク接続をオフにします。
- リーディングリストからWebサイトを開きます。

Webサイトが完全にレンダリングされます。

8. アーカイブファイルを圧縮します。Finderで、メニューバーの移動メニューをクリックし、フォルダーへ移動を選択し、パス名 ~/Library/Safari/ReadingListArchives/ を入力します。次に、ファイル名としてランダムな16進数文字列を持つフォルダーを圧縮します。このファイルは、サポートチケットを開く際にCitrixサポートに送信できるファイルです。

Secure Webの機能

Secure Webは、モバイルデータ交換テクノロジーを使用して、ユーザーが内部および外部のWebサイト、およびその他すべてのWebサイトにアクセスするための専用VPNトンネリングを作成します。これらのサイトには、組織のポリシーによって保護された環境で機密情報を含むサイトが含まれます。

Secure WebとSecure MailおよびCitrix Filesの統合により、セキュアなEndpoint Managementコンテナ内でシームレスなユーザーエクスペリエンスが提供されます。統合機能の例をいくつか示します。

- ユーザーがMailtoリンクをタップすると、追加の認証なしでSecure Mailに新しいメールメッセージが開きます。
- データを安全に保ちながらSecure Webでリンクを開くことを許可する：Android版Secure Webでは、専用のVPNトンネルにより、ユーザーは機密情報を含むサイトに安全にアクセスできます。Secure Mail、Secure Web内、またはサードパーティ製アプリからリンクをクリックできます。リンクはSecure Webで開き、データは安全に保護されます。ユーザーは、ctxmobilebrowserスキームを持つ内部リンクをSecure Webで開くことができます。そうすることで、Secure Webは ctxmobilebrowser:// プレフィックスを http:// に変換します。HTTPSリンクを開くには、Secure Webは ctxmobilebrowsers:// を https:// に変換します。

iOS版Secure Webでは、この機能はInbound Document ExchangeというApp Interaction MDXポリシーに依存します。このポリシーはデフォルトでUnrestrictedに設定されています。この設定により、URLをSecure Webで開くことができます。許可リストに含めたアプリのみがSecure Webと通信できるように、ポリシー設定を変更できます。

- ユーザーがメールメッセージ内のイントラネットリンクをクリックすると、Secure Webは追加の認証なしでそのサイトに移動します。
- ユーザーは、Secure WebでWebからダウンロードしたファイルをCitrix Filesにアップロードできます。

Secure Webユーザーは、次の操作も実行できます。

- ポップアップをブロックする。

注：

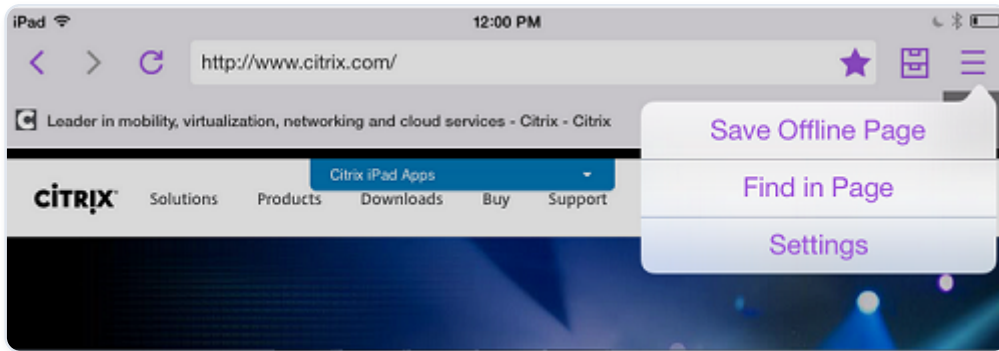
Secure Webのメモリの多くはポップアップのレンダリングに使われるため、設定でポップアップをブロックするとパフォーマンスが向上することがよくあります。

- お気に入りのサイトをブックマークする。
- ファイルをダウンロードする。
- ページをオフラインで保存する。
- パスワードを自動保存する。
- キャッシュ/履歴/Cookieをクリアする。
- CookieとHTML5ローカルストレージを無効にする。
- 他のユーザーとデバイスを安全に共有する。
- アドレスバー内で検索する。
- Secure Webで実行するWebアプリがユーザーの位置情報にアクセスできるようにする。
- 設定をエクスポートおよびインポートする。
- ファイルをダウンロードせずに、Citrix Filesで直接ファイルを開く。この機能を有効にするには、Endpoint Managementの許可されるURLポリシーに**ctx-sf**を追加します。
- iOSでは、3D Touchアクションを使用して、ホーム画面から直接新しいタブを開き、オフラインページ、お気に入りサイト、ダウンロードにアクセスできます。
- iOSでは、任意のサイズのファイルをダウンロードし、Citrix Filesまたは他のアプリで開くことができます。

注：

Secure Webをバックグラウンドにすると、ダウンロードが停止します。

- ページ内検索を使用して、現在のページビュー内で用語を検索する。



Secure Webは動的テキストもサポートしているため、ユーザーがデバイスで設定したフォントを表示します。

注：

- Citrix Files for XenMobile は、July 1, 2023 にサポート終了 (EOL) となりました。詳細については、「[EOLおよび非推奨のアプリ](#)」を参照してください。

iOSデータ保護

オーストラリア信号局 (ASD) のデータ保護要件を満たす必要がある企業は、Secure Mail および Secure Web の **iOSデータ保護を有効にする** ポリシーを使用できます。デフォルトでは、これらのポリシーは **オフ** になっています。

Secure Web で **iOSデータ保護を有効にする** が **オン** の場合、Secure Web はサンドボックス内のすべてのファイルにクラスAの保護レベルを使用します。Secure Mail のデータ保護の詳細については、「[オーストラリア信号局のデータ保護](#)」を参照してください。このポリシーを有効にすると、最高のデータ保護クラスが使用されるため、**最小データ保護クラス** ポリシーを別途指定する必要はありません。

iOSデータ保護を有効にする ポリシーを変更するには：

1. Endpoint Management コンソールを使用して、Secure Web および Secure Mail のMDXファイルをEndpoint Managementにロードします。新しいアプリの場合は、**構成 > アプリ > 追加** に移動し、**MDX** をクリックします。アップグレードの場合は、「[MDXまたはエンタープライズアプリのアップグレード](#)」を参照してください。
2. Endpoint Management コンソールを使用して、MDXファイルをEndpoint Managementにロードします。新しいアプリの場合は、**構成 > アプリ > 追加** に移動し、**MDX** をクリックします。アップグレードの場合は、「[アプリの追加](#)」を参照してください。
3. Secure Mail の場合は、**アプリ** 設定に移動し、**iOSデータ保護を有効にする** ポリシーを見つけて **オン** に設定します。このポリシーが有効になっている場合でも、古いオペレーティングシステムバージョンを実行しているデバイスには影響しません。
4. Secure Web の場合は、**アプリ** 設定に移動し、**iOSデータ保護を有効にする** ポリシーを見つけて **オン** に設定します。このポリシーが有効になっている場合でも、古いオペレーティングシステムバージョンを実行しているデバイスには影響しません。
5. 通常どおりアプリポリシーを構成し、設定を保存して、Endpoint Management アプリストアにアプリを展開します。

Secure WebのiOSおよびAndroid機能

Secure Webは、モバイルデータ交換技術を使用して、ユーザーが内部および外部のWebサイト、およびその他すべてのWebサイトにアクセスするための専用VPNトンネルを作成します。これらのサイトには、組織のポリシーによって保護された環境で機密情報を含むサイトが含まれます。

Secure WebとSecure MailおよびCitrix Filesの統合により、安全なEndpoint Managementコンテナ内でシームレスなユーザーエクスペリエンスが提供されます。統合機能の例をいくつか示します。

- ユーザーがmailtoリンクをタップすると、追加の認証なしでSecure Mailに新しいメールメッセージが開きます。
- **Secure Webでリンクを開き、データを安全に保つ。** iOSおよびAndroid版Secure Webでは、専用のVPNトンネルにより、ユーザーは機密情報を含むサイトに安全にアクセスできます。Secure Mail、Secure Web内、またはサードパーティ製アプリからリンクをクリックできます。リンクはSecure Webで開き、データは安全に保護されます。ユーザーは、Secure Webでctxmobilebrowser(s)スキームを持つ内部リンクを開くことができます。その際、Secure Webは `ctxmobilebrowser://` プレフィックスを `http://.` に変換します。HTTPSリンクを開くには、Secure Webは `ctxmobilebrowsers://` を `https://` に変換します。

この機能は、**Inbound Document Exchange**というApp Interaction MDXポリシーに依存します。このポリシーはデフォルトで**無制限**に設定されています。この設定により、URLをSecure Webで開くことができます。ポリシー設定を変更して、許可リストに含めたアプリのみがSecure Webと通信できるようにすることができます。

- ユーザーがメールメッセージ内のイントラネットリンクをクリックすると、Secure Webは追加の認証なしでそのサイトに移動します。
- ユーザーは、Secure WebでWebからダウンロードしたファイルをCitrix Filesにアップロードできます。

Secure Webユーザーは、次の操作も実行できます。

- ポップアップをブロックする。

注:

Secure Webのメモリの多くはポップアップのレンダリングに費やされるため、設定でポップアップをブロックすることで、パフォーマンスが向上することがよくあります。

- お気に入りのサイトをブックマークする。
- ファイルをダウンロードする。
- ページをオフラインで保存する。
- パスワードを自動保存する。
- キャッシュ/履歴/Cookieをクリアする。
- CookieとHTML5ローカルストレージを無効にする。
- 他のユーザーとデバイスを安全に共有する。
- アドレスバー内で検索する。
- Secure Webで実行するWebアプリに位置情報へのアクセスを許可する。
- 設定をエクスポートおよびインポートする。
- ファイルをダウンロードせずに、Citrix Filesで直接ファイルを開く。この機能を有効にするには、Endpoint Managementの許可されたURLポリシーに**ctx-sf**を追加します。
- iOSでは、3D Touchアクションを使用して、ホーム画面から直接新しいタブを開き、オフラインページ、お気に入りサイト、ダウンロードにアクセスできます。
- iOSでは、任意のサイズのファイルをダウンロードし、Citrix Filesまたは他のアプリで開くことができます。

注:

Secure Webをバックグラウンドにすると、ダウンロードが停止します。

- **ページ内検索**を使用して、現在のページビュー内で用語を検索する。

ページ内検索オプションの画像(/en-us/mobile-productivity-apps/media/worxweb-findinpage.png)

Secure Webは動的テキストもサポートしているため、ユーザーがデバイスで設定したフォントが表示されます。

iOS の機能

この記事では、Secure Web でサポートされている iOS の機能について説明します。

Secure Web を既定のブラウザとして設定するサポート

iOS 版 Secure Web では、Secure Web をデバイスの既定のブラウザとして設定できます。既定として設定すると、メモ、連絡先、またはその他のアプリで Web リンクをタップすると、Secure Web でページが開きます。この機能を有効にするには、次の手順を実行します。

- **管理者:** Secure Web MDX ポリシーで `https:` スキームを許可します。
- **ユーザー:** デバイスで Secure Web を既定のブラウザとして選択します。

https: スキームを許可するには:

1. Endpoint Management コンソールで、> の順に移動します。
2. **Secure Web** を選択し、をクリックします。
3. iOS プラットフォームで、を展開し、に `,https:` を追加します。

App URL schemes

`wser:;ctxmobilebrowsers:;ctxmobilebrowserappstore:;https:`



Secure Web を既定のブラウザとして設定するには:

1. デバイスで、iOS の**設定**アプリを開きます。
2. >> をタップします。
3. **Secure Web** を選択します。